

# 奄美地域におけるパッションフルーツの台風回避技術

つり上げ仕立てで株間を短くすることで植栽時期が11月～12月でも収量を確保できる

## 背景・目的

- 奄美地域におけるパッションフルーツは面積が増加傾向にあり、新規就農者向けの重要な品目
- 台風が10月まで襲来すると、植栽時期が11月以降に遅れ、慣行のつり下げ仕立てでは低収量が課題
- 近年開発されたつり上げ仕立ては、従来のつり下げ仕立てより増収するため、適正な植栽時期や株間を検討

## 成果の内容

- 慣行の10月植栽のつり下げ仕立てに比べ、植栽が1～2か月遅れてもつり上げ仕立てにすることで、結果率が高く、収量が多くなる
- 収量は、11月植栽、12月植栽の順に慣行よりも多い
- 11月上旬植栽では、11月中旬植栽比べて、収量が1割程度増加する
- 収量は株間1.5mが優れ、株間2.0mに比べて1割程度増加する

表1 仕立て法と植栽時期の違いと収量等 (R3)

植栽時期・仕立	開花 盛期	収穫 盛期	結果率 (%)	収量 (kg/10a)
10月つり下げ	4/4	6/14	74.1	2,581
11月つり上げ	4/22	7/1	<b>96.2</b>	<b>3,099</b>
12月つり上げ	4/30	7/6	<b>85.5</b>	<b>2,901</b>

注1) 4樹平均。つり上げはつり上げ仕立て、つり下げはつり下げ仕立てを表す。  
2) つり上げ11月区は11月15日、つり上げ12月区は12月5日、つり下げ10月区は10月25日に植栽。収量は1樹当たり収量と植栽本数(240本/10a)で計算。

表2 つり上げ仕立ての植栽時期の違いと収量等 (R4)

植栽時期	開花 盛期	収穫 盛期	結果率 (%)	結果 枝径 (cm)	収量 (kg/10a)
11月上旬	<b>4/23</b>	<b>7/9</b>	<b>89.8</b>	<b>7.8</b>	<b>3,106</b>
11月中旬	4/26	7/14	85.2	7.3	2,788

注1) 4樹の平均値。11月上旬区は令和3年11月1日、11月中旬区は11月15日に植栽。  
2) 結果枝径: 収穫終期に結果枝の直径を調査。

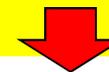
表3 つり上げ仕立ての株間の違いと収量等 (R5)

株間	主枝の 確立日	収量 (kg/10a)
1.5 m	<b>11月29日</b>	<b>3,495</b>
2.0 m	12月9日	3,181

注1) 3樹の平均値。両区とも令和4年11月1日に植栽  
2) 樹毎の収量と植栽本数(畝間2.25m, 株間1.5m区は272本/10a, 株間2.0m区は204本/10a)で換算。

## 期待される効果

台風回避のため植栽を遅らせる場合、つり上げ仕立てで株間を短くする



奄美地域における無加温栽培パッションフルーツの経営安定



○普及対象・範囲: 奄美地域の無加温栽培「パッションフルーツ」生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
大島支場亜熱帯果樹研究室 (R05)